

実施年度	実施主体	対象獣種	取組内容			
			捕獲	追払	点検	他
R7～R9	高知県大豊町 (大豊町有害鳥獣被害対策協議会)	シカ、イノシシ、サル	◎	○	○	—

現状・課題

山岳部に位置し鳥獣被害対策が必須となる当町において、有害鳥獣駆除を担う捕獲従事者や、柵の設置・追払いなどを行う被害対策の実施者の高齢化・減少が課題となっている。

事業概要

- ・シカ、イノシシについては、集落の被害状況をアプリに集約し、柵や集落点検、捕獲等の計画作成に活用。特に出没の多い集落林縁部にICTわなを網羅的に配備し、効率的な捕獲を進めるとともに、センサーカメラにより、誘引状況を可視化して捕獲の精度を向上。住民はわなの設置、見回りを担い、地域と猟友会がICTで連携するモデルを育成
- ・サルについては、県の群れ調査結果を踏まえた捕獲計画を策定し、ICT大型檻で群れ捕獲を実施。併せて住民へのサル出没情報の配信や追払い、柵の設置等の研修を進め、群れ捕獲と地域主体の被害対策による被害軽減モデル集落を育成。捕獲実施後は被害程度のアンケートや住民意識の調査などにより、群れ捕獲の効果を定量的・定性的に把握

活用機器※交付金活用外の機器を含む

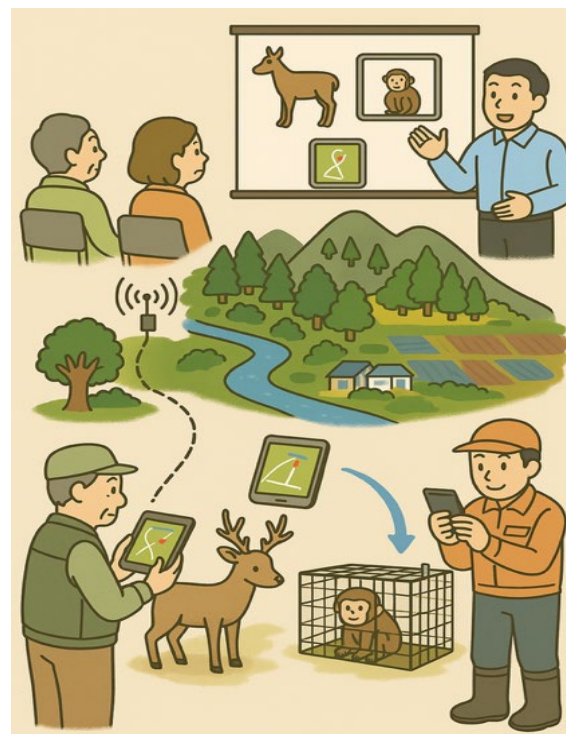
- ・センサーカメラ活用機器
- ・捕獲通知機器
- ・遠隔捕獲機器
- ・鳥獣出没等確認アプリ

モデル地区の普及範囲

- ・県内外

【イメージ】

地域と猟友会がICTで連携するモデルを育成



住民への研修
↓
住民によるアプリ
情報を踏まえた
わなの見回り、
追払い、柵の設置

特に出没の多い
集落林縁部に
ICTわなを配備

センサーカメラ、
捕獲通知機器で
状況を確認